

文化庁『歴史の道百選』選定  
古道 松之山街道  
(2009大河ドラマ『天地人』  
をつなぐ「上杉軍道」)

うまさぎっしり新潟  
新潟デザインキャンペーン  
2009.10/1~12/31



新潟県十日町市松代  
<http://www.tokamachishikankou.jp/>

十日町市まつだいへようこそ

十日町市松代

アクセス

- 電車で
  - <上越新幹線>  
越後湯沢駅乗換→ほくほく線まつだい駅(約45分)
  - <北陸本線>  
直江津駅乗換→ほくほく線まつだい駅(約40分)
  - まつだい駅から徒歩3分で熊越山上り口へ
- 車で
  - 関越自動車道→六日町ICからR253経由 (約50分)  
→越後川口ICからR117・R253経由 (約50分)
  - 北陸自動車道→上越ICからR253経由 (約60分)

インフォメーション

- 十日町市松代支所 ☎025-597-2220
- 松代交番 ☎025-597-2010
- 県立松代病院 ☎025-597-2100
- まつだい駅観光案内所 ☎025-597-3442
- 東頸バス ☎025-597-2312
- 東部タクシー ☎025-597-2254

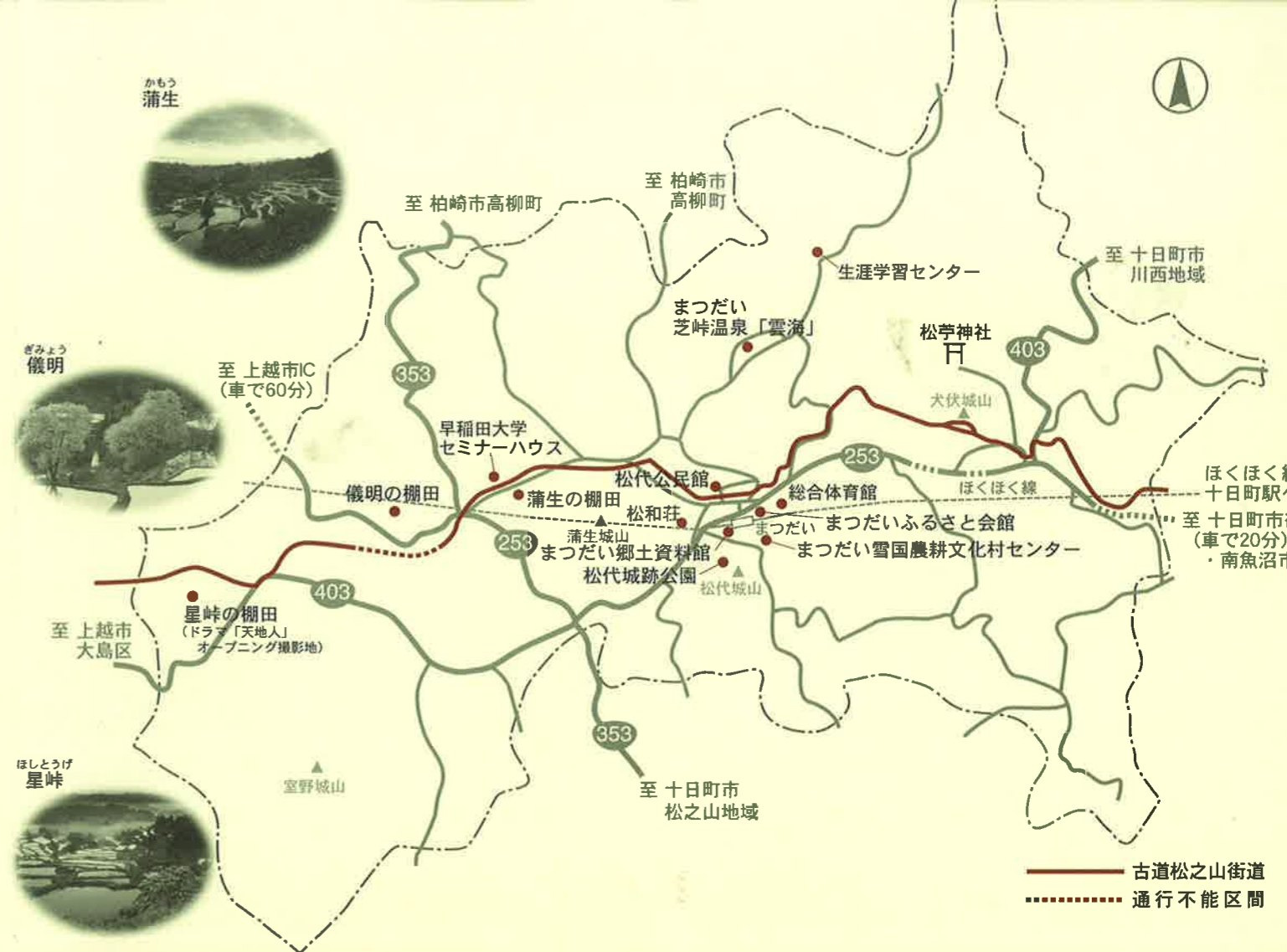
十日町市観光協会まつだい支部

E-mail:matsudaikankou@ybb.ne.jp  
☎025-597-3000

十日町市松代支所 地域振興課

E-mail:ms-chiiki@city.tokamachi.lg.jp  
☎025-597-2220 FAX025-597-2526  
〒942-1592 新潟県十日町市松代3252-1

2009.03作製



— 古道松之山街道  
- - - 通行不能区間

観光・宿泊のご案内

観光施設

- 十日町市まつだい郷土資料館  
十日町市松代3718 ☎025-597-2138  
まつだい郷土資料館は、昭和10年頃に建てられた入母屋檜造り農家を利用した資料館です。平成21年に現在の場所に移築されました。縄文時代の遺跡出土品や中世の古文書、雪国の民具や農具などが展示されています。  
■ 入館料：  
一般(高校生以上)300円(団体200円)  
小・中学生100円 ※団体は10名以上  
■ 定休日：月曜日・年末年始
- 松代城跡公園キャンプ場・展望台  
松代城の広大な敷地を利用した公園で、テントサイト・バンガローを備えたキャンプ場と釣り堀、菖蒲園がゆったりと点在しています。現代アートも楽しめます。(前日までに予約が必要)  
■ 利用申込・お問合せ窓口：  
十日町市松代支所 地域振興課  
☎025-597-2220 FAX.025-597-2526

宿泊施設

- まつだい芝峠温泉「雲海」  
<http://www.shibatouge.com/>  
十日町市蓬平11-1  
☎025-597-3939 FAX.025-597-3926  
■ 利用料金：1泊2食 11,650円～(サ・税別)  
■ 日帰り温泉入館料：500円(小学生200円)  
■ 収容人数：105名  
■ 日帰り温泉定休日：水曜日
- 松代青少年研修センター「松和荘」  
十日町市松代5570  
■ 利用料金：  
宿泊費 1泊2食 4,100円  
会議等 1室3時間 1,500円ほか  
■ 収容人数：80名  
■ 利用者の資格  
・7名以上の団体に限ります。  
■ 利用申込・お問合せ窓口：  
十日町市教育委員会 松代公民館  
☎025-597-2301 FAX.025-597-3905

その他の宿泊施設、詳しい観光情報は、  
十日町市観光協会まつだい支部までお問合せください。  
☎025-597-3000 FAX.025-597-2526  
<http://www.tokamachishikankou.jp/>  
E-mail:matsudaikankou@ybb.ne.jp

松之山街道(上杉軍道)にまつわる市の文化財・遺跡など

まつお 松茸神社(国の重要文化財)

松茸山山頂(海拔360m)に鎮座しています。明応6(1497)年建立で、茅葺屋根の木造建築物としては県内最古のもので、近郷の総鎮守で「松茸大権現」と呼ばれ、「麻織物」の神として信仰を集めていました。



松茸神社には、上杉謙信ゆかりの宝物が納められていました。

- 備洲長船兼光の短刀(市の文化財)  
全長45センチ 刀の中2.5センチ  
この小刀は、上杉謙信が小田原の北条氏康を攻める途中、軍配とともに松茸神社に奉納したものと伝えられています。

- 軍配(市の文化財)  
全長49.1センチ 最大巾15.7センチ 木製  
黒漆地に大きな金彩の日の丸が配され、裏は、黒漆地に赤の日の丸が配され、質素で優雅な趣があります。謙信の関東管領職就任祝と武運長久の祈願をこめて奉納されたものと思われます。

白馬観音像(市の文化財)

今はなき白馬観音堂(松茸神社中院)の本尊で、木造の冠頭の馬は白色の馬頭観音像です。台座は蓮華座、魚鱗葺きとなっています。



本体の像高 36.3センチ  
台座の高さ 17.0センチ

いぬぶし 犬伏城(市の文化財<遺跡>)

自然の地形を利用して築城し、春日山城の支城として上杉謙信の領国支配に欠くことのできない地位にありました。標高365mの頂上、東西12m、南北32mの平坦地に本丸、本丸の東真下の東西28m、南北14mの平地に二の丸があり、二の丸の南方に別に延びている尾根の東西18m、南北10mの平地に三の丸がありました。春日山城から、直峰、犬伏、坂戸城と関東に対し最短距離の中間地点にあり、しかも松茸神社を擁している犬伏城については、歴代の越後国主にとっては重要中の要衝であったことに間違いなく、そうそうたる城主を配していました。